

体育科教育にかかわる現状と課題

部長 小林克之

1 体育科教育の動向

【上越地区】

柏崎市立新道小学校で6年体育「マット運動」の授業研修会を行った。協議題を「体育学習における子供たちの学び合い」とし、学び合いの様相、学び合いのための手立ての2点から協議した。教え合う視点を明記した学習カードやデジカメの有効性が話題になった。また、小・中学校間での活発な意見交換もできた。

【中越地区】

長岡市立新組小学校では、「よりよい生活習慣の形成を目指した指導の在り方」をテーマに学校体育指導者協議会中越支部主催の研究協議会が開催された。担任と養護教諭とのT・T指導により、食育と関連付けた指導及び知識の習得と活用が図られた素晴らしい授業が公開され、参会者からも高い評価を得た。

【下越地区】

佐渡市では、「基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自ら学び考える力を育成する体育学習」をテーマに平成21年度から2年間研修を続けてきた。各単元で身に付ける知識・技能や思考力を明確にし、授業を展開してきた。その結果、特に子供が意欲的に挑戦し、進んで基礎的・基本的な技能を身に付けようとする姿が見られた。

【新潟市】

「楽しく運動し、技能が身に付く体育授業」を目指して、実技講習会を2回、授業公開を8回実施した。楽しく運動させる手立てとして、教えること、考えさせることを明確にした授業実践に取り組み、手立ての有効性について分析するなど、充実した活動となっている。

2 体育科教育の課題

- (1) 1校1取組の推進等により、文科省が実施した全国体力テストでは好成績を収めた。しかし、運動への取り組み方には依然二極化が見られる。運動嫌いの子供たちに、いかにして体を動かすことの楽しさを体得させるかが課題となる。
- (2) 新学習指導要領実施に向けて先進的な取組が続けられた。運動の系統性が強調されている中で、今後は例えばマット運動における着手の指導等、運動技能の定着に着目した実践研究を進めていく必要がある。
- (3) 体力向上を推進する上で、生活のリズムや食育等、子供たちのよりよい生活習慣の確立が重要なポイントとなる。家庭とのさらなる連携強化が重要である。